

基準 4 . 学生の受入

(1) 観点ごとの分析

観点 4 - 1 - 教育の目的に沿って、求める学生像や入学者選抜(例えば、準学士課程入学者選抜、編入学生選抜、留学生選抜、専攻科入学者選抜等が考えられる)の基本方針などが記載されたアドミッション・ポリシーが明確に定められ、学校の教職員に周知されているか。また、将来の学生を含め社会に公表されているか。

(観点にかかる状況)

- ・入学者を選ぶ時代から入学者に選ばれる時代になったとの認識から、本校においては、「教育の実践目標」を明確に定め、こうした教育を求める学生を選抜したいと考えています。そのため、入学案内や学校見学会・体験入学における「サイエンス講座」や「モノづくり教室」、あるいは年3回入学案内等作成資料を持参し、中学校(約100校程度)に訪問して学校説明を通じ教育内容や目標を理解いただくことに努めています。また、こうした活動は本校の全構成員が参加しての活動であり、「本校の教育に共感し、自己実現の意欲を継続できる人材」を求める姿勢を明確にしています。
- ・本校のアドミッション・ポリシーは、「入学試験の面接に係る申合せ」に定められ、教職員に周知されています。

(分析結果とその根拠理由)

- ・本校の教育目標が入学案内や中学校での説明会によって周知されています。また、学校見学会・体験入学の参加者の中から多数の生徒が入学する実績から、本校のアドミッション・ポリシーが理解され、本校への入学に繋がっていると認識しています。(資料 4 - 1 - 1 「刊行物の配布数」)(資料 4 - 1 - 2 「学校見学会・体験入学参加者数」)(資料 4 - 1 - 3 「学校説明会参加者数」)
- ・中学校に訪問しての学校説明や学校見学会、体験入学の実施には、本校の教職員全員が参加し、説明や案内に従事することから、本校の教職員は、本校のアドミッション・ポリシーを理解できていると考えます。
- ・本校のアドミッション・ポリシーは「入学試験の面接に係る申合せ」(資料 4 - 1 - 4 : 訪問調査時閲覧資料)に明確に定められています。

(資料 4 - 1 - 1)

「刊行物の配布数」

<平成16年度>

都道府県	訪問校	未訪問校	刊 行 物					計
			ハンズオン (リーフレット)	体験入学 案内	ハンズオン(入学案内)			
					体験入学時	資料請求	中学訪問・学校説明会等	
石川県	97	7	12,100	12,100	300	50	4,500	4,850
富山県	14	72	1,750	1,750	0	5	300	305
計	111	79	13,850	13,850	300	55	4,800	5,155

(資料4 - 1 - - 2)

「学校見学会・体験入学参加者数」

		平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
参加者数	第1回	192	131	193	235	291	153
	第2回	159	90	164	129	166	133
	第3回	-	66	-	-	-	-
計		351	287	357	364	457	286
(内：入学者数)		(65)	(22)	(63)	(58)	(72)	(46)

(資料4 - 1 - - 3)

「学校説明会参加者数」

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
学校説明会 参加者数(教員)	82	70	124	156	150	106

観点4 - 2 - アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されているか。

(観点にかかる状況)

- ・本校の入学者選抜は、推薦入学試験と一般入学試験によって行われています。推薦入学試験は、中学校長の推薦に基づいて基礎学力試験と面接によって選抜しています。(資料4 - 2 - - 1「入学試験問題2004」)本校が5年間にわたる専門分野の教育機関であることから、途中での進路の変更は非常に困難です。中学校側で本人や保護者との話し合いが行われることが望ましく、結果として推薦による入学者を優先してきました。多年にわたる「本校の教育に共感し、自己実現の意欲を継続できる人材」を求める本校の選抜のあり方が中学校側に浸透した結果として学力での志願者は少数に留まっています。また、一般入学試験においても面接を実施し、本校への進学意欲の確認を行っています。
- ・校長を長とする入試本部が入試運営委員会を設け、入学試験に関する業務全般を統括し組織的に実施しています。

(分析結果とその根拠理由)

- ・推薦入学試験および一般入学試験での「面接」は、本校の「入学試験の面接に係る申合せ」に基づいて実施することで適切に行われていると考えています。また、試験の実施前には、試験を担当する教職員が全員集まり、試験実施に関する注意事項等を周知徹底しています。
- ・「金沢工業高等専門学校入学試験制度の取扱いについて」(資料4 - 2 - - 2)に基づく入学者選抜にかかる運営組織と手順によって適切に実施されています。

(資料4 - 2 - - 1)
「入学試験問題 2004」

数学 (50分)

1. 次の計算をしなさい。(計算の途中過程は示さないで下さい。)

(1) $(-3)^2 + (-2)^2 + 5$

答 _____

(2) $\sqrt{17} + \sqrt{30} - \sqrt{5}$

答 _____

(3) $\frac{3-7x}{3} - \frac{4x+x}{3} + y$

答 _____

(4) $\frac{5}{2}a^2 + \frac{3}{2}a + (-\frac{a}{2})$

答 _____

2. 次のそれぞれの関りに答えなさい。(計算の途中過程は示さないで下さい。)

(1) $-a^2 + 4a$ を因数分解しなさい。

答 _____

(2) ある整数 x を3倍してから2乗しなければならぬのに、勝手に2乗してから3倍したため、計算の結果が600だけ小さくなりました。はじめの整数 x の値を求めなさい。

答 _____

(3) $(x+6)(2x-1) - (x-3)^2$ を展開しなさい。

答 _____

(4) 半径3cmの円があります。この円から半径が2cmで中心角が 60° と 40° の扇形を取り除いたところ、斜線部分のような図形になりました。この斜線部分の面積を求めなさい。

答 _____



3. 関の表さが、たての向きが y である関があります。このとき、次のそれぞれの関りに答えなさい。

(1) 面積が 10 になるような関を作りたい。これと関の関の表さをどのようにすればよいでしょうか？

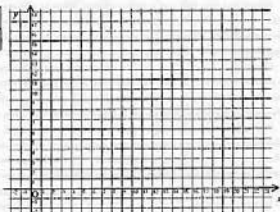
関の表さ : x	1	(7)	(4)	2.0
たての表さ : y	1.0	5	2.5	(9)

答 (7) _____ (4) _____ (9) _____

(2) x と y の関を関式を求めなさい。

答 _____

(3) x と y の関を関グラフをかきなさい。



4. 5円玉と10円玉と50円玉を使って、ちょうど80円にしたいと考えています。次のそれぞれの関りに答えなさい。

(1) 5円玉と10円玉だけを使うとする、組み合わせは何通りありますか？ただし、どちらも必ず1枚以上使おうとします。

答 _____

(2) どれを使ってもよいことにすると、全部で何通りありますか？ただし、1枚も使わないものがあることにします。

答 _____

5. 図のように、4つの一次関数の関の交点をA, B, C, Dとします。このとき、3点A, B, Cの関をそれぞれ(1,6), (0,3), (4,0)でした。次のそれぞれの関りに答えなさい。(計算の途中過程は示さないで下さい。)

(1) 2点A, Bを通る関の関式を求めなさい。

答 _____

(2) 直線ADの関は $y = -\frac{3}{4}x + 10$ 、直線CDの関は $y = x - 4$ でした。このとき、点Dの関を求めなさい。

答 _____

(3) 四角形ABCDの面積を求めなさい。

答 _____

6. 図のような三角形ABCがあります。この三角形ABCを、点Cを中心として、点Bが辺AB上にくるように回転しました。このとき、回転して得られた三角形をA'B'C'として、辺A'C'と辺ACの交点をDとします。

次のそれぞれの関りに答えなさい。(注：図は実際の角度、長さとは異なるので、仮定してください。)

(1) 三角形A'B'Dと三角形A'CDは相似であることを証明しなさい。

[証明]

答 _____

(2) $\angle B'DC = \angle B'BC$ のとき、 $\angle B'CB' = \angle DCB'$ であることを証明しなさい。

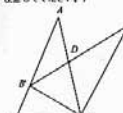
[証明]

答 _____

(3) (2) の条件のもとで、 $\angle DCB' = \angle DCB$ であることを証明しなさい。

[証明]

答 _____



理科 (50分)

1. 下のア～コまでの原子について、関に答えなさい。答は () 内に書きなさい。

ア. 炭素 イ. 酸素 ウ. マグネシウム エ. 塩素 オ. 鉄 カ. O 子. Ar ア. N ケ. Na コ. O₂

1) ア～オを原子の記号で書きなさい。

ア () イ () ウ () エ () オ ()

2) カ～コの記号で表される原子の名前を書きなさい。

カ () ケ () コ () ク () ケ () コ ()

3) カとコの子からできる化合物の物質名とその化学式を書きなさい。

物質名 () 化学式 ()

4) オとカの子からできる化合物の物質名とその化学式を書きなさい。

物質名 () 化学式 ()

5) ア～コまでの原子が、単体となったとき分子になるものを3つ、分子にならないものを2つ選んでア～コの記号で書きなさい。

分子になるもの () () ()

分子にならないもの () () () () ()

6) ア～コまでの原子が、単体となったときに金属の性質を示すものを選び選んでア～コの記号で書きなさい。

() () () () ()

2. A, B, Cの3つのビーカーに濃度5%の水酸化ナトリウム水溶液がそれぞれ10 [cm³]、20 [cm³]、40 [cm³]ずつ入っている。このA, B, Cのビーカーに、ある濃度の硫酸を15 [cm³]ずつ加えてよくかき混ぜ、Bのビーカーの水溶液の性質を調べたら中性だった。関に答えなさい。答は () 内に書きなさい。

1) 酸とアルカリがたがいの性質を打ち消しあう変化を何というか。 ()

また、このときできた物質を何と呼ぶか。 ()

上の水酸化ナトリウム水溶液と硫酸との反応でできた物質の名称は何か。 ()

2) Aのビーカーの水溶液の性質は、酸性、中性、アルカリ性のどれか。 ()

3) Cのビーカーの水溶液を中性にするためにはどちらの水溶液を、あとどれだけ加えればよいか。

水溶液 () を、あと () [cm³] 加える。

4) Bのビーカーの水溶液をスライドガラスに少しとり、水分を蒸発させたあと、顕微鏡で調べた。このとき見えた結晶はどのような形のものが多いか。 ()

3. 右の図は、マグネシウムを加熱し炭酸カルシウムと反応させたときの、マグネシウムの質量とできた酸化マグネシウムの質量との関を表したグラフである。関に答えなさい。

1) マグネシウム 3.0 [g] が酸と反応すると、酸化マグネシウムはどれだけできるか。

答 _____

2) マグネシウム 7.5 [g] と反応する酸の質量はいくらか。

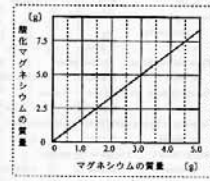
式 _____

答 _____

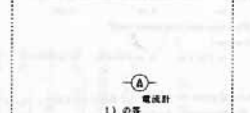
3) マグネシウムの質量と化合成する酸の質量を関した関の比で表しなさい。

式 _____

答 _____



4. 10 [Ω] の抵抗 a と 15 [Ω] の抵抗 b を下の関のように電流につないだ。



1) この状態で 15 [Ω] の抵抗 b を流れる電流の大きさを求めるには、電流計をどのようにつなげばよいか。右の関の中に全体の回路図を書きなさい。図中の電流計を利用して書きなさい。

2) 15 [Ω] の抵抗 b を流れる電流が 0.12 [A] であった。電流の電圧はいくらか。

式 _____

答 _____

3) 電流から流れる電流はいくらか。

式 _____

答 _____

6. 右の関のようにばねに 50 [g] のおもりをつるしたとき、ばねの伸びが 1.0 [cm] であった。

1) 50 [g] のおもりから重力的大きさはおよそ何 [N] か。

答 _____

2) 50 [g] のおもりの数を1個ずつ増やしていったら、のびが下の関ようになった。この表をもとにして、ばねの伸びの大きさ [cm]、ばねの伸びの大きさ [N] をとった関を右に書きなさい。

おもりの数 [個]	1	2	3	4	5
ばねの伸び [cm]	1.2	2.3	3.6	4.8	6.0



3) おもりを1個つけた状態で、右の関のように、4 [g] の電流をおびた物体をおもりの下側に近づけたところ、ばねの伸びが 3.6 [cm] となった。以下の関に答えなさい。

a) 下の文章の () の中に適当な言葉を入れなさい。

4 [g] の電流をおびた物体を近づけたとき、ばねの伸びが大きくなったことから、おもりにかかる下向きの方の大きさが () になったと考えられる。つまり、近づけた物体がおもりに () 向きに力を与えたこととなる。近づけた物体が + [g] の電流を持っていたので、このおもりは () の電流をおびていたことが予想される。

b) 近づけた物体がおもりに与えた力の大きさは何 [N] か。

式 _____

答 _____



平成16年度 入学試験問題

●一般入試

英語 (50分)

1. 次の 1) ~ 8) の文中に入るべき語を最初の別文字につづけて完成させなさい。
- 1) It is too dark to read without a l _____.
 - 2) We need a s _____ to use the Internet.
 - 3) L _____ comes after Wednesday.
 - 4) We went to Australia during last summer's w _____.
 - 5) What k _____ of aspects do you like?
 - 6) My parents are the a _____ age. Both of them are forty - five years old.
 - 7) Go a _____ on this street, and you will find the post office on your left.
 - 8) A _____ is the month between March and May.

2. 次の 1) ~ 7) の質問の応答として正しいものを後の a ~ g より選んで () に記号を書きなさい。
- 1) Excuse me. Can you help me with my homework? ()
 - 2) Where are you from? ()
 - 3) I really liked the movie. What did you think? ()
 - 4) How did you like your visit to Kyoto? ()
 - 5) How many times have you been to Paris? ()
 - 6) May I speak to Mike? ()
 - 7) Which sweater do you want? ()

- a. I'll take the yellow one.
- b. I was very impressed with the beauty of the city.
- c. From San Francisco.
- d. I'm sorry. He is not here. May I take a message?
- e. Sure. I'd be glad to.
- f. I thought it was O.K.
- g. Oh, more than twenty times.

3. 次の 1) ~ 10) の各文の () に入る正しい語句を a, b, c, d より 1 つ選んで () に記号を書きなさい。

- 1) Whose car is this?
It's ()
a. him b. his c. her d. me
- 2) () everyone like the English teacher?
a. Do b. Is c. Does d. Are
- 3) How long have you lived in Kyoto?
() ten years.
a. For b. Since c. With d. By
- 4) When did you finish () the letter?
a. write b. wrote c. written d. writing
- 5) The sky is dark. It's going to () soon.
a. rain b. raining c. rains d. rained
- 6) I'm going to have a party at my house tomorrow. () you like to come?
a. Would b. Could c. Can d. Did
- 7) Do you know () to get to the station?
a. what b. how c. where d. who
- 8) The students like Mr. White's English class. () he is a very good teacher.
a. but b. because c. than d. without
- 9) There () three boys and two girls in my family.
a. be b. is c. are d. am
- 10) What time does your school start?
It starts ()
a. at 8:30 a.m. b. on 8:30 a.m. c. in 8:30 a.m. d. for 8:30 a.m.

4. 次の対話文中の () の中に入る最も適切なものを後の a ~ i より選んで () に記号を入れなさい。

M = Masayuki K = Roland
M: What is the most interesting thing about Japan?
K: It's difficult to choose only one. ()
M: Well, have you seen any differences between Singapore and Japan?
K: () There are a lot of differences between our two countries.
M: Please give an example. ()
K: All right. Let me see...OK. How about this? In Singapore, we usually don't take a hot bath because it is very hot and humid.
M: ()
K: Yes, we do, but the water is usually cool. The temperature of the water is about 30°C to 35°C.
M: Wow! () We usually use 42°C hot water.
K: The first night when I came to your house, you asked if I wanted to take a hot bath, but () The bath water was too hot for me. I was not able to get into the bathtub.
M: Really? I didn't know that. I thought you enjoyed a Japanese - style hot bath at that time. ()
K: It's OK now and I like taking a hot bath in Japan, but I can't stay in the bath for more than two minutes!
注: differences: 違い example: 例 humid: 湿度が高い temperature: 温度

- | | |
|--|---|
| a. I would like to know. | f. How about now? |
| b. That sounds cool to me. | g. I didn't play it. |
| c. There are so many interesting things about Japan. | h. Yes, I have. |
| d. My friend doesn't know much about Singapore. | i. I was shocked when I got into the bathtub. |
| e. Do you take showers? | |

5. 次のダイアログという名の説明書を読んで後の 1) ~ 6) の各文が説明書の内容に合っているなら○、違っているなら×をそれぞれ () に書きなさい。

Tylenol
For: Headache, backache, colds, toothache, and fever.
Directions:
Adults and children 12 years old and over
● Take 3 tablets every 4 to 6 hours.
● Do not take more than 8 tablets in 24 hours.
● Children under 12 years old do not take this tablet.

Warnings:
If you take too many tablets, call your doctor immediately.
Questions and Comments:
● Call: 1 - 888 - 534 - 2233
● Write to: Green Drug and Healthcare
Bridgeway St.
Cockeater, Texas 54762
U.S.A.

注: Tylenol: 鎮痛剤・解熱剤 headache: 頭痛 backache: 腰痛 colds: 風邪 toothache: 歯痛 fever: 熱 tablet: 錠剤
D () Adults have to take more than 8 tablets in 24 hours.
2) () Adults can take 3 tablets every 4 to 6 hours.
3) () 10 - year - old children can take this tablet.
4) () If you have any questions or comments, you can call or write.
5) () If you take too many tablets, take a rest at home.
6) () Green Drug and Healthcare is in the U.S.A.

6. 次の英文を読んで後の質問に答えなさい。

My name is Masayuki and I am a high school student. I had a great experience in June this year. A student from Singapore stayed at my house for a week. His name was Roland Tan and he is a twenty - year - old university student in his country. He came to Kanazawa to attend an international student meeting in Kanazawa. Over 200 students from all over the world came. ① All of the students in the meeting stayed their homestay at people's homes in Kanazawa. ② 私の家にも招待ロード本家の家に泊らされてとてもうれしかったです。

Roland was very kind and a serious student. When he was at our house, he talked a lot about his country, Singapore. I didn't know much about the country before, but I started to be interested in (2) the culture and people of Singapore after listening to Roland. He told us that many ethnic groups live there. ③ People in Singapore speak English, Chinese, Malay, and Tamil. English is their official language and many ethnic groups use English to communicate with each other.

Singapore is a small island and it is a very clean country. Roland said people in Singapore do not throw garbage away on the streets. If they do that, they will have to pay a fine. Many tourists visit ④ Singapore and they like the country because it is very clean. People in Singapore try to keep their country clean. I think this is very important and we should learn this wonderful behavior from Singapore. Some people in Japan throw garbage, cans, trash, and cigarettes in public places.

During his stay at my house, I tried to talk to him in English. Of course, my English is not very good but we tried to understand each other. We sometimes used dictionaries to communicate. It was not very easy for me to communicate with him in English, but I learned many things from him. I learned about the many differences in language, culture, people and rules between our two countries. I learned a very important thing from our conversations. That is, ⑤ They are all the same people and we can be friends even though we have different languages and cultures. We must understand and respect each other. This can also be true of countries. If we try to understand and respect differences among countries, we will all be happy and the world can be one.

注: attend: 出席する serious: まじめな culture: 文化 fine: 罰金 tourist: 旅行者 garbage: ごみ trash: くず throw away: 捨てる behavior: 行い rule: 規則 conversation: 会話 respect: 尊敬する

設問 1) 上欄 1) の英語を日本語で要約し、次の a, b, c のうち正しいものを 2 つ選びなさい。

- a. 会議に出席した学生は全員の家にホームステイすることを申し込んだ。
- b. 会議に出席した学生は全員の家にホームステイの要請をしをくれた。
- c. 会議に出席した学生は全員の家にホームステイの要請をしをくれた。

設問 2) 上欄 2) の日本語に合うように () 内の単語を並び替えて英文を完成させなさい。

(and, to, Roland, my, house, very, family, I, at, were, happy, have, our)

設問 3) (2) に入る最適な語を a, b, c, d より 1 つ選んで○で囲みなさい。

- a. on b. than c. in d. of

設問 4) 上欄 4) の文を English を文頭に同じ語彙を持つ文に書き換えるために () に 1 語ずつ書きなさい。

English () () and Tamil () () () Singapore.

設問 5) 上欄 5) の語を語彙が同じで語序と意味が逆う語を文章より選んでその語を書きなさい。

設問 6) 上欄 6) の部分の英文は日本語で語つどのようなことを書いているのか次の日本語に続けて完成させなさい。

たとえ言葉や文化が違っていたとしても、私たちは

設問 7) 次の質問に英語で答えなさい。

- 1. Why did Roland come to Kanazawa?
- 2. Did Masayuki know a lot about Singapore before he met Roland?

国語 (五十分)

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ニューヨークに滞留していたとき、①劇団がやってきた。見に行った同行の友人が、暗い表情でもって来た。歌舞伎はすばらしいが、開演前、ロビーで、日本の若い人々のあいさつがあったのをまかされて嬉しくなった。という。日本的な規律でいえば、べつにわるいスピーチではない。ここでも日本的とは、たとえばできるだけ私情を入れず、その催しの概説をのべ、公演の意義を述べ、さらには公演にいらるまでの関係各位の労をたたえ、といった「あいさつ」をさす。日本人のあいさつでなら、それで十分足りる。私も日本人は、無意味な言葉を忍従する上に、馴らされている。さらには、言語というものは魅力のないものだときどきあきだしている。この場合、友人が心を晴らしたのには、そのスピーチを地元のアメリカ人にも聴かされたことだった。

言語は、ひとりごとである場合以外、他者のものでもある。聴かされる側にとって、自分の時間と体力と、それに相手の言語が喚起する想像力という三つのエネルギーを話し手に提供しているのである。魅力のない言語は、傍聴にひとしい。しかも人間は、言語こそこの世の最大の魅力の最高のものだ、とだれもが意識の底でももっている。乳幼児は言語こそ発せられないが、たえず母親のことばによって、聴覚を通し大脳に快く刺激をうけつけている。人間が最初に出会う言語は、②母語でも音楽でもなく、言語なのである。やがて幼児が言語の意味を解するようになると、母親が話してくれるお話を、③宇宙のかがやきと同質のものを感じてしまう。三遊亭内朝は、幕末から明治中期にかけての作家で、不世出の天才で、たらしい。創作もした。私はその速記録『円朝全集』をもっているが、どうにも感情移入ができてくなくて四苦八苦してしまふ。やはり内朝は音言語で聴くべきものであると思う。かれの生涯で、山岡鉄舟との出会いは大きい。鉄舟は不世出の剣客であり、あらゆる面で、語りあげたようなサムライの典型だった。鉄舟が、いった、自分は幼いころ、疎麻のなで母親から鉄舟の斬きいたが、この斬になつてもそのおもしろさが忘れられない。ぜひ鉄舟の斬をしめてみたい。……内朝は大いに惚れ、とて自分には先生の鉄舟が、強い感性にあたえたような能力がない、とこわつた。語うた側のほうの鉄舟も、ことわつたほうの内朝も、言語における魅力とはなにかというところを知りぬいていたのである。

私がおおとして語っているのは、内朝と鉄舟における言語の本質論というような大それたものではない。ちよつとした方法論をいおうとしている。話し手の「ア」こそが、言語における魅力をつくりだすということである。それが唯一の条件でないにせよ、正直さの欠けた言語は、ただの音響にすぎない。私は日本人は「イ」だと決まってしまうが、しかし「ウ」であろうとすることについての確度が不足していることとはたしかである。ナマ正直はしばしば下品で悪徳でさえある。しかし謙虚の「エ」は、まったくべつのものである。ニューヨークでの歌舞伎の開演前のスピーチで、えらい人が、じつをいって私は日本人のくせに歌舞伎には関心がある、と正直に言つたら、もつとすばらしいかつたらう。

(司馬遼太郎「言語の魅力」より)

問一 傍線部①～③の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問二 ア イ エ には、「正直」または「不正直」という語句が入る。適当な語句をそれぞれ答えなさい。

問三 傍線部Ⅱについて、なぜ「アメリカ人とともに惚かされた」ことが「心を晴く」する原因となるのか、その理由を具体的に説明しなさい。

問四 傍線部Ⅰ「強い感性にあたえたような能力」とあるがどのような「能力」なのか説明しなさい。

二次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

いのちが生まれ、死んでいく。その当たり前のことが見えないう、都会の生活。ところが大塚原サブナでは、生と死が視覚的にとらえやすい。生まれたばかりの草食獣の子どもが、その日のうちにチーターに食べられるシーンを何度も「モクギキ」して来た。残骸がかわいそう」と言う人が多い。確かに、確かに見ると切ない気持ちになる。が「かわいそう」と言う人がチーターの子どもを見たときは「かわい」と大喜びしている。どちらも素直な感情なのだろうが、「その感情を扱ったところにある、いのちの真実について知ってほしい。昨年出会ったチーター親子の物語。母親と生後二週間の子どもたちは、とてもやせていた。地上最速のチーターでさえ、獲物を狩るのはそうたやすいことではない。母親が何日も食べていないと母乳が出なくなるので、子どもたちはやせてしまったのだらう。かわいいうちもたちが無事に育つてほしい」と思うのだが、生き残る必要があるのは、子どもよりもむしろ親の方。親が死ねば当然子どもは死ぬ。親が生きて残れば遺子を残せる可能性が出てくる。『そのような状況でも、母親は子どもたちを折しもむなく、翌日には子どもは三頭から二頭に「イ」、その翌日にはもう姿を見ることができなくなった。サブナでチーターの子どもが大人になれる。カトリツは低い。だから母親が狩りに成功したとき、草食獣を「B」と感じる以上に「チーター」のいのちがつかつてよかった」と思ってしまう。食べられる草食獣の数は圧倒的に多く、天敵の間引かなければ、数が増えすぎて種の「C」の図式でとらえてほしいのちの本質からかけ離れてしまふ。自然界は「D」の図式でとらえてほしい。その中で食べられることも食べられることも必要なこと。大切なのは「E」ではなく、新しいいのちがつかつていくことなのだ。

(井上冬彦「生と死が見える場所」より)

問一 傍線部ア～イのカタカナを漢字に直して書きなさい。

問二 傍線部Ⅰ「その感情」とはどのような感情なのか説明しなさい。

問三 傍線部Ⅱ「そのような状況」とはどのような状況なのか説明しなさい。

問四 この文章を二段落に分けるとすると、二段落と三段落はどこからか、それぞれの初めの四字を抜き出しなさい。

問五 A E に入る最も適当な語句を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。(ただし、同じ語句は入らない。)

- ① 「食う」食われる
② 「死なない」こと
③ 「かわいそう」
④ 「早く狩りに成功してほしい」
⑤ 「残骸」かわいそう

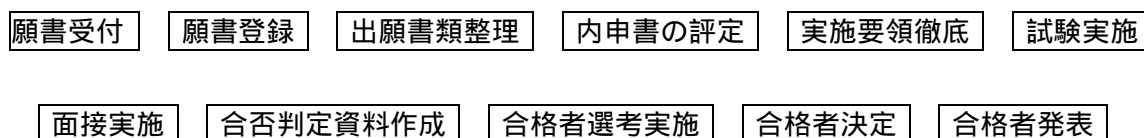
問六 この文章についての感想を三百字以内(句読点を含む)で書きなさい。

(資料4 - 2 - - 2)

「金沢工業高等専門学校入学試験制度の取扱いについて」

金沢工業高等専門学校入学試験制度の取扱いについて

- 1 この取扱いは、金沢工業高等専門学校学則（以下「学則」という。）第 16 条の規定に基づき入学試験及び合格者選考に必要な事項について定める。
- 2 入学試験に係る業務は、次の手順をもって実施される。



- 3 入学試験は、別表 1 の金沢工業高等専門学校入学試験運営組織をもって実施される。
 - (1) 入試本部は、校長が長となり入学試験に関する業務全般を統括する。
 - (2) 校長は、入学試験を適正に実施するため、入試本部に教務主事を責任者とする入試運営委員会を設置する。
 - (3) 入試運営委員会は、入学試験を円滑に運営するため次の業務を行う。
 - イ 願書の受付、整理
 - ロ 入試問題の作成及び確認
 - ハ 入試実施のための会場設営及び運営資料の作成
 - ニ 筆記及び面接試験の実施
 - ホ 試験の採点及び確認
 - ヘ 合否判定資料の作成及び確認
 - ト 合格者の選考
 - (4) 入試運営委員会は、合格者の選考結果をとりまとめ、校長に提出する。
- 4 校長は、入試運営委員会より提出された選考結果について、学務会議に諮ったうえで合格者を決定し、発表する。
- 5 推薦入学試験の不合格者が、引き続き一般入学試験の受験を希望するときは、一般入学試験の出願手続を行うことなく受験できることとする。この場合、当該受験者の受験料は免除する。

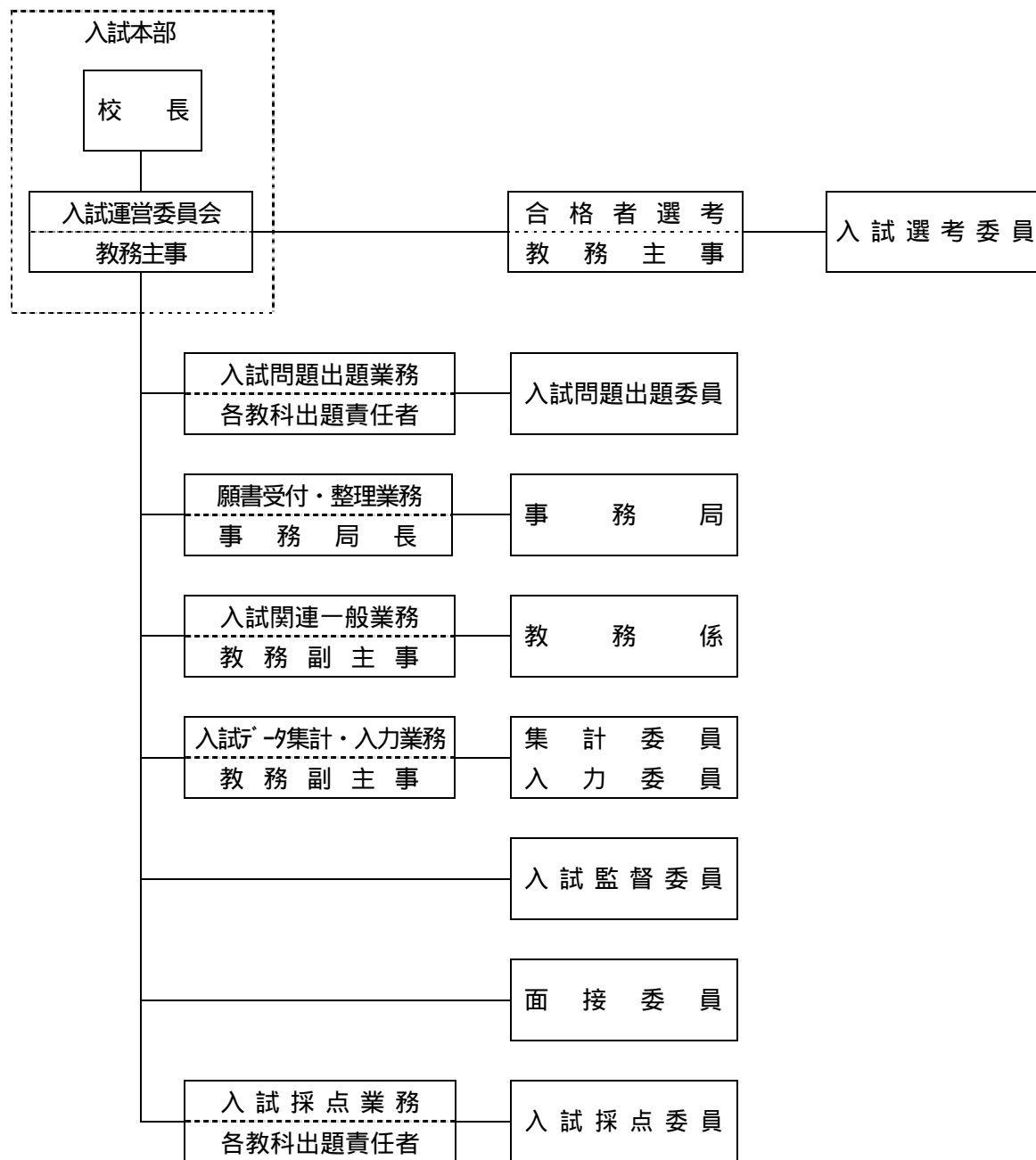
附 則

この取扱いは、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

(出典 「金沢工業高等専門学校関係規則集」 P.95)

別表 1

金沢工業高等専門学校入学試験運営組織図



(出典 「金沢工業高等専門学校関係規則集」 P.96)

観点4 - 2 - アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証しており、その結果を入学選抜の改善に役立てているか。

(観点にかかる状況)

- ・本校の教育等に共感し、自己実現の意欲をもって入学した学生にとって、本校の教育が満足できるものとなっているかが最も重要な視点であると考えています。昨年実施したアンケートの結果において、新入生の約80%、在在学生においては約50%が「満足」を示しており、改善が必要であると認識しています。(資料4 - 2 - 1「新入生アンケート調査結果」)(資料4 - 2 - 2「KTC総合アンケート調査結果」)
- ・しかし、在学生の満足度の減少は、入学試験制度上の問題に関与しているとは考えていません。その理由は、新入生を対象としたアンケート調査では、入学前と入学後の短期間による本校のイメージについての確認となり、本校の雰囲気や共感性は高くても言えます。在校生は、授業内容のレベルが上がることや、学生生活上でのあらゆる問題に直面する中において、残念にも満足度の評価が減少しているものと認識しています。
- ・退学者の中で、不本意入学による進路変更はごく少数に留まっており、その理由の大半は、家庭の事情や、成績不良によるものです。また、成績不良者に対しては、担任と各教科担当者が連携をとり、個別指導を行うことでその改善に努めています。

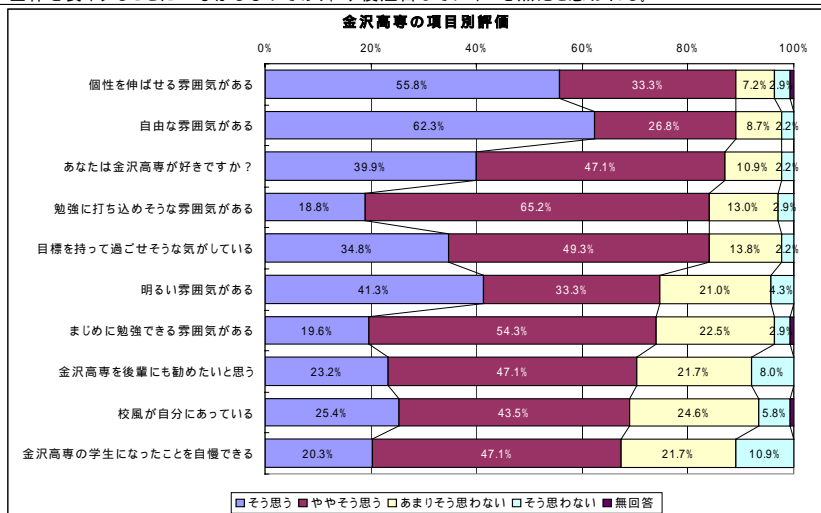
(分析結果とその根拠理由)

- ・KTC総合アンケート調査の結果、在学生の満足度は50%です。不満足な理由を検証すれば、勉強がきつい、勉強がわからないがその理由の大半を占めています。
- ・学生に目標を持たせ、意欲を触発する教育実践に一層の努力を払い、教育改善を進めてまいります。その第一歩として、学生満足度が高学年において低下する原因が、入学時に描いていた学生自身の目標あるいは夢が高学年まで持続できていないことにあると考え、平成17年度からキャリアデザイン教育の導入を図りました。また、学生の意欲を触発する取り組みの一つとして、1日一感動運動を平成17年度から実施することとしました。
- ・最も多感な時期にある学生に対して、退学者の問題は、本校において重要な事項であると考えています。常に退学理由の検証を行うことで改善を図っており、今後も継続して努力していく所存です。
- ・入試の検証については、学生満足度を基本としたいと考えていますが、学力の追跡調査等の導入も今後の検討すべき課題と考えています。

(資料4 - 2 - - 1)

「新入生アンケート結果」

- 金沢高専の雰囲気などに関して聞いたものを、「そう思う」と「ややそう思う」の合計値でソートしたものが下記のグラフとなる。
- まず、全体では「あまりそう思わない」「そう思わない」は合計しても4割未満であり、雰囲気や高専の評価はマイナスではないことが分かる。
- 雰囲気では「個性を伸ばせる雰囲気がある」「自由な雰囲気がある」といった点であり、両者ともに9割程度の学生がそう感じていた。また、「勉強に打ち込みそうな雰囲気」に関しては「ややそう思う」が多かったものの84.0%がそう感じていた。
- 雰囲気以外では、「金沢高専が好き」という意見が87.0%であり、「目的を持って過ごせそうな気がする」は84.1%であった。
- 逆に評価が低めだったのは「金沢高専の学生になったことを自慢できる」「校風が自分にあっている」「金沢高専を後輩にも勧めたい」といった「学校に対する共感」といった部分である。しかし、この「学校に対する共感」の部分に関して6割以上は「そう思う」「ややそう思う」と感じており、決して評価が低いわけではなかった。ただし、「学校に対する共感」を上げていくことが、学校に愛着を持つ学生を育て、学校全体を良くすることにつながるものであり、今後注目していくべき点だと思われる。



(出典 「平成16年度 KTC新入生アンケート調査結果」 P.17)

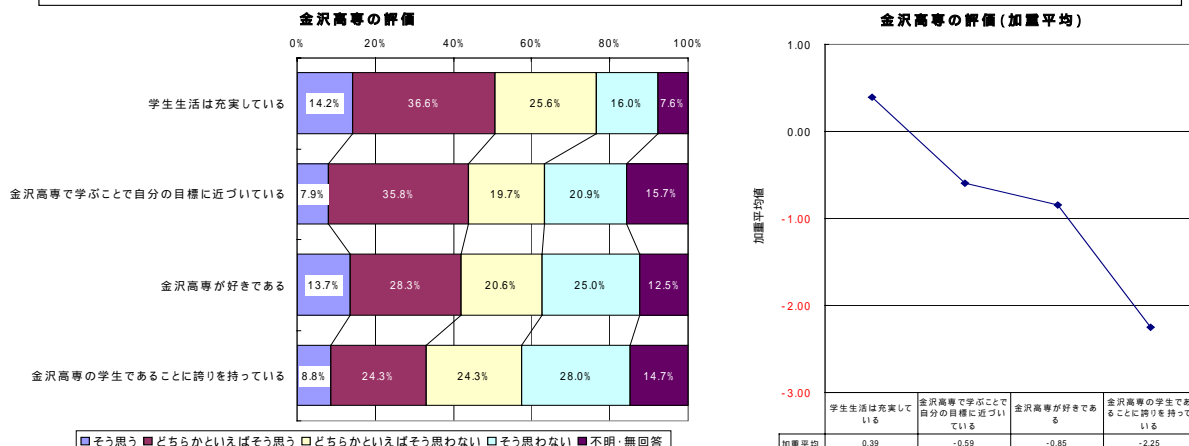
(資料4 - 2 - - 2)

「KTC総合アンケート調査結果」

<2-1> 金沢高専の満足度

全体傾向

- まず、学生生活の全体的な満足度を見るために「金沢高専に対する評価」を見たところ、残念ながら肯定的な意見よりも否定的な意見が多く見られる結果となった。
- 「学生生活の充実」は最も満足度に近い指標であり、他の分析でも使っているが、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると50.8%と約半数が学生生活が充実していると感じていることが分かった。
- しかし、残りの3指標である「自分の目標に近づいている」「金沢高専が好きである」「誇りに持っている」の3点に関しては肯定的な意見は半数に満たなかった。「不明・無回答」を除くと肯定的な意見が半数に達するものもあるが、結果としては危機感を持つべき内容だと言える。
- 加重平均を見ると明らかであるが、「学生生活の充実」はわずかにプラスとなっているものの、その他の項目はマイナスとなっていた。詳細は後述するが、昨年度の結果よりも全体的に良い方向に向かってきているものの、半数以上が否定的な意見を持っているという点はしっかりと受け止めるべきだと言える。



平成15年度は在学生と卒業生を合わせて全体としたため、平成15年度の報告書と単純比較はできない。

(出典 「平成16年度 KTC総合アンケート調査結果」 P.11)

観点 4 - 3 - 実入学者が、入学定員を大幅に超える、または大幅に下回る状況になっていないか。
また、その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

(観点にかかる状況)

- ・新設された国際コミュニケーション情報工学科が3年続けて定員割れの状況にあります。(資料4 - 3 - - 1「入学試験の状況」)(資料4 - 3 - - 2「編入学試験の状況」)

その原因は当該学科の内容及び目標が十分中学校側に伝わっていない点にあると考え、別刷のパンフレット「SPEAK UP」を作成し、中学校を中心に周知する努力を行っています。今後も努力を継続し、中学校側の理解を促していきたいと考えています。

- ・平成16年度から、ネイティブスピーカーの英語教員を中心に、小中学校への「出前授業」を行い、本校の英語教育と国際コミュニケーション情報工学科をアピールする機会を増やしています。

(分析結果とその根拠理由)

- ・結果的に定員割れであることは努力不足であるとの評価になります。本校における学生募集が、中学校での説明会や学校見学会・体験入学等、人的活動を中心とすることから、広報的な展開による幅広さに欠けるものとなっています。特に、平成15年4月に設置された国際コミュニケーション情報工学科においては、蓄積された知名度がないことから、十分な志願者が得られず苦慮しているところです。今後は、根気強く募集活動を行う中で、新設学科の内容及び目標を積極的に広報することで志願者の確保を果たし、本校の教育に共感する入学者の確保に努めたいと考えています。

(資料4 - 3 - - 1)

「入学試験の状況(準学士課程)」

平成13年度入試

()数は推薦選考

項目・年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格率	入学定員 超過率	備考
電気工学科	90	109 (74)	109 (74)	90 (65)	78 (65)	82.5 (87.8)	0.86	
機械工学科	45	62 (41)	62 (41)	49 (38)	39 (38)	79.0 (92.6)	0.86	
合 計	135	171 (115)	171 (115)	139 (103)	117 (103)	81.2 (89.5)	0.86	

平成14年度入試

()数は推薦選考

項目・年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格率	入学定員 超過率	備考
電気工学科	90	131 (71)	131 (71)	112 (65)	87 (64)	85.4 (91.5)	0.96	
機械工学科	45	79 (51)	79 (51)	56 (37)	48 (37)	70.8 (72.5)	1.06	
合 計	135	210 (122)	210 (122)	168 (102)	135 (101)	80.0 (83.6)	1.00	

平成15年度入試

()数は推薦選考

項目・年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格率	入学定員 超過率	備考
電気情報工学科	45	78 (40)	78 (40)	71 (38)	53 (38)	91.0 (95.0)	1.17	第二志望以下 の学科 合格10名
機械工学科	45	88 (51)	88 (51)	65 (47)	55 (47)	73.8 (92.1)	1.22	
国際コミュニケーション 情報工学科	45	47 (23)	47 (23)	43 (23)	34 (23)	92.4 (100)	0.75	第二志望以下 の学科 合格10名
合 計	135	213 (114)	213 (114)	179 (108)	142 (108)	84.0 (94.7)	1.05	

平成16年度入試

()数は推薦選考

項目・年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格率	入学定員 超過率	備考
電気情報工学科	45	71 (34)	71 (34)	68 (32)	50 (32)	95.7 (94.1)	1.11	
機械工学科	45	76 (37)	76 (37)	64 (35)	53 (35)	84.2 (94.5)	1.17	
国際コミュニケーション 情報工学科	45	54 (34)	54 (34)	50 (31)	37 (31)	92.5 (91.1)	0.82	第二志望以下 の学科の 入学者 6名
合 計	135	201 (105)	201 (105)	182 (98)	140 (98)	90.5 (93.3)	1.03	

平成17年度入試

()数は推薦選考

項目・年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格率	入学定員 超過率	備考
電気情報工学科	45	65 (31)	65 (31)	61 (29)	46 (29)	93.8 (93.5)	1.02	第二志望以下 の学科の 入学者 2名
機械工学科	45	75 (32)	75 (32)	65 (25)	49 (25)	86.6 (78.1)	1.08	
国際コミュニケーション 情報工学科	45	43 (21)	43 (21)	40 (23)	33 (23)	93.0 (109.50)	0.73	第二志望以下 の学科の 入学者 3名
合 計	135	183 (84)	183 (84)	166 (77)	128 (77)	87.3 (91.6)	0.94	

(資料4 - 3 - - 2)

「編入学試験の状況(準学士課程)」

平成13年度入試 (単位:人)

		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格率	備 考
推薦試験	電気工学科	-	受験者なし					
	機械工学科	-						
	計	-						

平成14年度入試 (単位:人)

		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格率	備 考
推薦試験	電気工学科	-	0	0	0	0	0	(工業高校出身)
	機械工学科	-	1	1	1	1	100	
	計	-	1	1	1	1	100	

平成15年度入試 (単位:人)

		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格率	備 考
推薦試験	電気工学科	-	1	1	1	1	100	(工業高校出身)
	機械工学科	-	0	0	0	0	0	
	国際コミュニケーション 情報工学科	-	0	0	0	0	0	
	計	-	1	1	1	1	100	

平成16年度入試 (単位:人)

		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格率	備 考
推薦試験	電気工学科	-	1	1	1	0	100	(工業高校出身)
	機械工学科	-	0	0	0	0	0	
	国際コミュニケーション 情報工学科	-	0	0	0	0	0	
	計	-	1	1	1	0	100	

平成17年度入試 (単位:人)

		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	合格率	備 考
推薦試験	電気工学科	-	2	2	0	0	0	(工業高校出身)
	機械工学科	-	1	1	1	1	100	
	国際コミュニケーション 情報工学科	-	0	0	0	0	0	
	計	-	3	3	1	1	33.3	

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

- ・本校の教育内容や教育目標が中学校側に十分浸透しており、新設学科を除く他の2学科は、安定した志願状況にあると考えています。

(改善を要する点)

- ・定員割れの状況にある新設学科の知名度を高める必要があります。
- ・学生満足度調査の精度を高め、アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜の改善に役立てる必要があります。

(3) 基準4の評価の概要

アドミッション・ポリシーとして、募集要項に出願資格や選考方法を明記しているほか、「教育の実践目標」を明確に定め、「本校の教育に共感し、自己実現の意欲を継続できる人材」を求める姿勢が示されています。これは、「入学試験の面接に係る申合せ」に明記され、教職員に周知されており、受験生募集のための教職員による中学校訪問説明や、受験を希望する中学生が当校へ体験入学する際に説明することにより、社会に公表されています。

入学者選抜試験は一般学力選抜と推薦選抜があり、それぞれ基礎学力試験と面接を実施しています。面接における留意事項や質問例等を「入学試験の面接に係る申合せ」で詳細に定め、本人の志望動機等を確認するなど、アドミッション・ポリシーに沿って適切な方法で実施されるように工夫されています。アドミッション・ポリシーに沿った学生受入が実際に行われているかどうかの検証については、アンケート調査の精度の向上や学力の追跡調査等の努力を重ねる必要があります。

機械工学科及び電気情報工学科の2学科については、入学定員の管理が適正に行われていますが、平成15年度に新設された国際コミュニケーション情報工学科で、3年間入学定員を充足していない状況にあります。このことから、広報誌「SPEAK UP」の作成・配布や、小中学校への出前授業の実施などの対策を行っていますが、活動の効果が顕著に現れるまでには至っていません。

以上のとおり、アドミッション・ポリシーの策定状況、入学者選抜の状況、及び実入学者数と入学定員との比較状況を総合的に判断すれば、今後さらなる努力が必要であると考えています。